

平塚市漁業協同組合

[神奈川県：活動期間13年]

小学校での「ふれあい給食」による低未利用魚の普及活動

地元で獲れた魚をこどもたちに

当漁協では、地元産業を学習する小学5年生を対象に、漁業者が市内小学校に直接出向き、地元の漁業や魚に関する授業を行った後、児童と一緒に魚メニューの給食を囲む「ふれあい給食」を行っています。「ふれあい給食」では、地元で漁獲される、漁獲量は多いものの市場価値の低い小サバやシイラ等の低未利用魚を利用することにより、児童の漁業への理解を深めてもらうとともに、低未利用魚の普及にもつなげています。

この日はシュモクザメ給食
おいしそう！



シイから南蛮給食

シイから：シイラの唐揚げ

印象に残る・学びを深める授業を

「ふれあい給食」では、こどもたちに、より親近感を持つて貰うため、若手漁業者を中心に派遣するとともに、平塚の漁業PRキャラクター「ひらつかタマ三郎」もたびたび参加しています。授業では、目にする機会のない漁業の現場の臨場感を感じてもらうため、出港から沖での操業、漁港に戻っての水揚げ状況まで、一連の漁業の状況を動画で紹介するとともに、実物の漁具や魚を持ち込んだり、漁業者による魚のさばき方を実演するなどの工夫をしています。

間近で見る
魚のさばき方実演
に大興奮



漁具を
実際に見てみよう！

学習の成果を地域にも還元

本活動の中で、5年生が総合学習の時間で「平塚のシイラ」について調べPR動画を作成、6年生が児童考案レシピによる「シイラ給食」を実現するとともに、シイラカルタを作成し地域に寄贈を行う学校もありました。また、児童の要望に応えた事業者が、給食レシピの商品化を行っています。

シイから南蛮バーガー



シイラカルタ完成！



この度は、受賞できとてもうれしいです。推薦いただいた平塚市教育委員会をはじめ、積極的に参画いただいた小学校の皆様にも感謝です。取り組みを通し生徒たちから、漁業の課題を解決していくエネルギーをもらっています。今後も地魚を通し、皆さんが幸せになっていくことを想い、事業展開していきます。

平塚市漁業協同組合 一同